

B型事業所 アクセプト  
令和4年6月  
地域協働活動報告

地域に根ざした事業所づくり

# わくわくネットワークを通じた 地域の企業体との連携活動

- 。宮崎市の就労系事業所の任意団体である、一般社団法人わくわくネットワーク。わくわくネットワークに地域の企業から依頼された受注作業はあるものの、納期がある事、作業の難しさ、単価が合わない等の理由から、各事業所の受け入れ状況は良い状況とは言えない。そのため、仕事はあっても引受先がないと事務局も悩んでいる。当事業所は、受け手がいない作業も積極的に取り入れ、地域企業の困りごとの解決を図っている。各企業と直接の連携を取り、指定された製品を期日までに仕上げる事を目標としており、利用者と伴に納期を意識した「仕事」として取り組んでいる。また、作業単価については作業の細分化、利用者の配置、役割分担等の工夫を行い、できる限り効率化する意識を持ちながら取り組んでいる。受注作業における実績はわくわくネットワークの仕事のあっせん実績に直結している事もある。地域を支える存在としての、わくわくネットワークのポテンシャルをさらに引き出せるよう取り組んでいく。

地域企業連携

# 有限会社矢野青果 千切り大根袋詰め作業

地場産業の一つ、千切り大根の製造、販売を行う地域企業。

わくわくネットワーク受注。

製品の種類が多く、各製品に合わせた対応を行う必要がある。現在、複数の事業所で取り組みを行っているも、生産量に課題がある。また、製品に応じた対応が難しいとの理由で受注を敬遠されている面もある。当事業所としては、生産の安定化、生産量の確保、作業効率化を重点課題として取り組み、地域企業の課題解決の一翼を担っている。利用者にも、先述した「仕事」として取り組んでもらう事を意識してもらい、地域企業から安心して仕事を任せてもらえる存在となりえる事を知ってもらう。それが、就労に対する自信、信頼の確保、やりがいとして捉えられるように支援していく。就労希望のある、能力の高い利用者に関しては直接の雇用に向けてアプローチしていく。また、製品を卸してもらい、それを事業所で販売する活動も行う。相互連携を深め、お互いにメリットがある関係性を構築し、維持継続していく。

# 地域企業連携

## 株式会社Have fan Factory

### サプリメント製品箱詰め等

宮崎市に製造工場を持つ、サプリメント製品製造・販売の企業。

わくわくネットワーク受注。

サプリメント製品の箱詰め作業、シール貼り作業を受注している。1回の受注量が数千個単位であり、さらに納期が短い点が敬遠されるポイントとなっている。社長も、障がい福祉への関心が高く、なるべく障がい福祉サービス事業所へ発注依頼をしたい思いを持っている。しかし、先述の通り、受注する内容の難易度が高く、応えられる事業所が少ない。当事業所は作業効率化、納期の厳守を最重点課題としており、地域企業の困りごとへ対応できる事業所として成果を上げる。利用者も、納期があることに対して責任感を持って「仕事」として取り組むことができている。地域企業に頼られる事業所であることが、利用者の自信、就労への意欲に強く作用していると感じている。

近隣住民の方たちへ

## 事業所前イベント販売会

近隣住民の方たちへ向けた、周知活動として事業所前での定期的な販売会の実施。

事業所の前で骨董品、アパレル製品、ハンドメイド製品、飲食物の販売を行う。

販売するハンドメイド製品の作成、骨董品等の洗浄、修繕を行う。イベント当日の売り場づくり。来場者に対する対応。イベント販売会として、物を売る活動を通じ、売れる喜び、客とのかかわりなどにやりがいを感じてもらうことで、就労することへの意欲を高める。恒久自治会・民生員・地域住民等とのつながりを生み出す。そして、地域の方々に事業所の存在を周知し、障がい福祉に関する地域の困りごとなどを相談できる存在となれるように取り組む。

また、生産活動につながるような地域の困りごとを掘り起こし、手伝うことで報酬が得られるように関係性を構築していく。

地域企業連携（5月より新規受注）

株式会社シンセラティ

EC販売商品の梱包等

宮崎市に拠点を置くEC販売の地域企業。

わくわくネットワーク受注。

ECにおける業務、梱包作業を受注して取り組んでいる。当事業所もECに取り組んでいるため、そのノウハウ蓄積にも協力してもらっている。また、作業量の多さと物量から、やはり引き受け手の少ない作業である。作業を探し、提供するわくわくネットワークの存在意義、地域企業の後押しを念頭に、難しい作業ではあるが、請け負っている。

また、先述の通り、EC販売におけるアドバイス等が受けられる大きなメリットがある。双方が良いと思える関係性を構築、維持していけるよう取り組む。

これからの発展性も見込めるため、ともに成長できるように相互理解を深めていきたい。

# 令和4年6月度実績

## ○ 矢野青果千切り大根袋詰め作業

総売上：179,065円

箱作りの作業に圧迫され、思うように作業できない場面もあったが、1か月を終えてみたところ、普段とそう変わりないだけの実績を上げる事が出来た。

今月は100gの受注が少なかったのも、安定した収益につながった。しっかりと連携をとることで、特に問題を指摘されることなく終える事が出来た。

引き続き、地域企業、地場産業を縁の下で支えていく気持ちを持って取り組んでいく。

# 令和4年6月度実績のつづき

## 。事業所前イベント販売会

総売上：なし

今月は、箱作りの作業に追われることが多く、事業所前でのイベントを実施する余裕がない状況となった。

事業所前のイベントではなく、山形屋ストアでの販売会に参加する形となった。

また、雨天も続いたことも一つの要因である。この時期には、天候に左右されることを意識して実施してかなくてはならない。来月は、イベント販売会はあるものの、事業所前でも自主イベントが行えるようにスケジュール管理を行っていきたい。



# 令和4年6月度実績のつづき

◦ 山形屋ストア販売会6月18日～21日

総売上：32,040円

コロナ渦中、なかなか実施されなかったイベント販売会への参加がついに現実となった。4日間での売り上げは32,040円。仕入れをした古物を拭き上げ、洗浄し、ラッピングをして販売した。壺、花瓶を中心に、少しずつ売れていった。

壺の販売方法などは、もっと工夫する事が出来そうである。底に水抜き用の穴をあけて、鉢植えとして売ってみるなど、差別化を図りたい。

今回の売り上げは32,040円。4日間トータルの数字なので、1日あたり1万円はなかったが、上記のような工夫をして、もっと客の目を引けるようにしていきたい。

# 令和4年6月度実績のつづき

## 。シンセラティ梱包作業

総売上：11,310円

今月は、依頼数が少なかったため、この数字となった。特に問題があったわけではない。取扱商品についても、こちらで気づいた点などを伝え、梱包方法などをしっかりと確認する事が出来た。

特に、今回は袋に入りきらない商品があったため、報告を上げることで、想定外の出来事を相互協力によって解決する事が出来た。

引き続き、お互いを支え合える環境を整えて、ともに発展できるよう臨みたい。

# 令和4年6月度実績のつづき

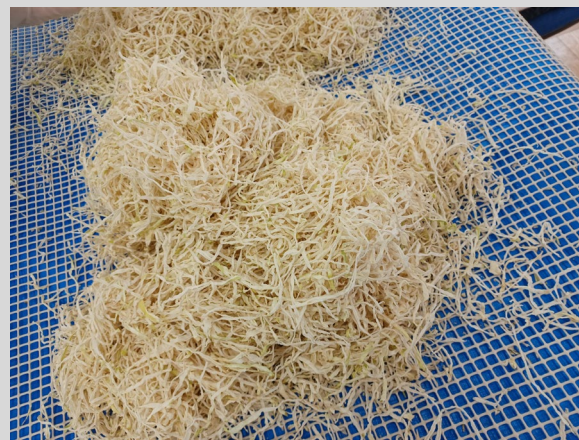
◦ Have fun Factory サプリメント製品の梱包作業等

総売上：591,262円

今月は、大口の受注となった。作業自体、手間もかかるが、作業を細分化して効率化を図った。ハブファンファクトリー様とも、綿密な打ち合わせをしながら、納期を意識した作業となった。いささか、量も多かったため、かなり忙しさを感じるようにはなったが、企業からの期待には応えられたと思われる。利用者も、これだけの仕事を達成できた事への喜びが大きい。地域企業のパートナーとしての仕事であると、意識できている。地域企業との連携をさらに深め、これからをともに発展できるように取り組んでいく。

# 各作業の様子

- 矢野青果千切り大根袋詰め作業



今月は、他の作業に追われ、作業が滞る場面も見られたが、最終的な売り上げはいつもと大きく変わらないものとなった。引き続き、地場産業を支える仕事として、しっかりと取り組みたい。







# 各作業の様子

- 山形屋ストア販売会



今月はわくわくネットワーク、山形屋ストア販売会へ参加した。たくさんの古物、骨董品、ビンテージ品を持って行った。少しずつ、商品が売れることが非常にうれしかった。利用者に磨き作業、ラッピング作業をしてもらった商品である。また次回開催についても、参加をしたい。